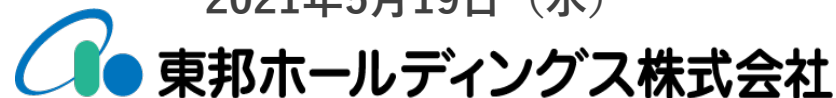




2021年3月期 決算説明会

2021年5月19日（水）



【注記】

本資料に掲載されている東邦ホールディングス株式会社の現在の計画、見通し、戦略、想定等のうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から東邦ホールディングス株式会社の経営陣の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。また、資料に含まれる医薬品に関する情報は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。



役職員一同コンプライアンスの徹底を図り、再発防止に取り組む

| 役員報酬の減額（2020年7月より実施）

- 役員賞与：代表取締役3名 70%減額、その他の取締役 50%減額
- 月額報酬：10%減額

| コンプライアンス研修の実施

- 東邦ホールディングスおよび東邦薬品に所属する全社員を対象
- 月毎の研修テーマに沿って、各部署で集合研修を実施し、実施状況をグループ・コンプライアンス・リスク管理委員長（有働社長）に報告
- 営業に関わる全社員は別途「独占禁止法研修」も義務付け



2021年3月期の決算概要

- 減収、減益。主な要因は下記の通り。
 - 新型コロナウイルスへの感染を警戒した患者様の受診抑制や緊急事態宣言下における営業自粛の影響
 - 個々の製品価値に見合った単品単価交渉に努めたが、卸事業者間の価格競争の影響を大きく受ける
- 最新鋭物流センター「TBCダイナベース」の稼働を始めとする、物流体制の再構築に取り組む
- 東邦薬品株式会社が独占禁止法違反容疑で東京地方検察庁から起訴された事案について、独占禁止法関連損失として4,213百万円を特別損失に計上

単位：百万円

	2020年3月期		2021年3月期		
			実績		
	金額	売上比 (%)	金額	売上比 (%)	対前期 増減率 (%)
売上高	1,263,708		1,210,274		△4.23
売上総利益	115,415	9.13	99,372	8.21	△13.90
販売管理費	97,825	7.74	95,069	7.86	△2.82
営業利益	17,590	1.39	4,303	0.36	△75.54
経常利益	23,732	1.88	10,289	0.85	△56.65
当期純利益	16,230	1.28	4,989	0.41	△69.26

東邦HD 連結 B/S



共創未来

単位：百万円

	2020年3月期		2021年3月期			主な増減要因
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減額	
流動資産	477,958	71.25	486,911	71.27	8,953	現預金 8,866増加
固定資産	192,869	28.75	196,269	28.73	3,401	有形固定資産 1,438増加 投資有価証券 2,198増加
資産合計	670,827	100.00	683,181	100.00	12,354	
流動負債	378,000	56.35	376,717	55.14	△1,283	買掛金等 1,828増加 未払法人税等 3,231減少
固定負債	61,817	9.21	69,058	10.11	7,240	資産除去債務 1,568増加 繰延税金負債 1,812増加 独占禁止法関連損失引当金 4,213計上
負債合計	439,818	65.56	445,775	65.25	5,957	
純資産	231,009	34.44	237,405	34.75	6,397	利益剰余金 3,126増加 有価証券評価差額金 3,037増加
負債純資産合計	670,827	100.00	683,181	100.00	12,354	

自己資本比率 2020年3月期 34.41 % 2021年3月期 34.73%

医薬品卸売事業 P/L



共創未来

単位：百万円

	2020年3月期		2021年3月期		
	金額	売上比 (%)	実績		
			金額	売上比 (%)	対前期増減率 (%)
売上高	1,214,030		1,162,256		△4.26
売上総利益	81,721	6.73	66,494	5.72	△18.63
販売管理費	63,710	5.25	62,524	5.38	△1.86
営業利益	18,011	1.48	3,970	0.34	△77.96
経常利益	21,911	1.80	7,507	0.65	△65.74
当期純利益	14,717	1.21	839	0.07	△94.30

カテゴリー別売上構成比

	2019年4月 -2020年3月	2020年4月 -2021年3月
新薬創出加算対象品	25.5%	29.5%
特許品・その他	40.3%	41.3%
長期収載品	20.8%	15.1%
GE品	13.4%	14.0%

妥結率

	2017年 3月末	2018年 3月末	2019年 3月末	2020年 3月末	2021年 3月末
金額ベース	97.2%	99.9%	95.5%	99.7%	100.0%
軒数ベース	92.9%	100.0%	86.7%	99.8%	100.0%

単位：百万円

	2020年3月期		2021年3月期		
			実績		
	金額	売上比 (%)	金額	売上比 (%)	対前期 増減率 (%)
売上高	96,124		91,098		△5.23
売上総利益	33,493	34.84	31,483	34.56	△6.00
販売管理費	30,792	32.03	28,794	31.61	△6.49
営業利益	2,700	2.81	2,688	2.95	△0.44

■調剤薬局店舗数

	連結子会社	非連結子会社	関連会社	合計
東邦HD傘下	4社 78店舗	9社 55店舗	3社 23店舗	16社 156店舗
ファーマクラスター傘下	5社 465店舗	16社 66店舗	2社 90店舗	23社 621店舗
合計	9社 543店舗	25社 121店舗	5社 113店舗	39社 777店舗

非常時でも医薬品等を安定供給する社会的使命

非接触型の配送ビジネスモデルを推進

- ・ ノー検品の推進
- ・ 薬局本部システム『ミザル』による計画配送

ワークスタイルの変革

- ・ MSは医薬品等の安定供給を最優先とした活動
- ・ 時差出勤、在宅勤務、テレワークの継続
- ・ 会議はオンラインを活用

感染症対策商品の提案



サーモグラフィーカメラ・
AI顔認証デバイス
Sense Thunder



サージカルマスク
医療関係者・お取引先等に
対して2,500万枚を提供
全社員に無償配布（430万枚）



新型コロナウイルス
PCR測定キット

キュービクス社の
PCR検査キットを独占販売



ダチョウ抗体スプレー
Vブロックスプレー



光触媒除菌脱臭機arc
ジャパン・レジリエンス・アワード
『STOP感染症大賞部門』
最優秀賞受賞

地域担当卸としてワクチン関連製品の配送受託

ナファモスタットメシル酸塩製剤の無償提供



中期的な収益性向上のための事業戦略

既存事業

製品価値に見合った価格提案による
流通改善への取り組み

顧客支援システムの推進

共創未来ファーマとのシナジーによる
ジェネリック医薬品の課題解決

調剤薬局事業の機能強化

地域医療への貢献

社会課題の解決
持続可能な社会の創出

成長分野

DX

オンライン診療・リモートディテリング
KAITOS、インタッチ、順天堂大学共同研究...

バイオ医薬品・再生医療等製品
・医療デバイス
クリングルファーマ、ヘカバイオ、Drawbridge...


検査薬・ワクチン
キュービクス...

バイオシミラー
...

積極的な
アライアンス



災害対応




自動化


高機能物流



好立地



多温度帯
配送



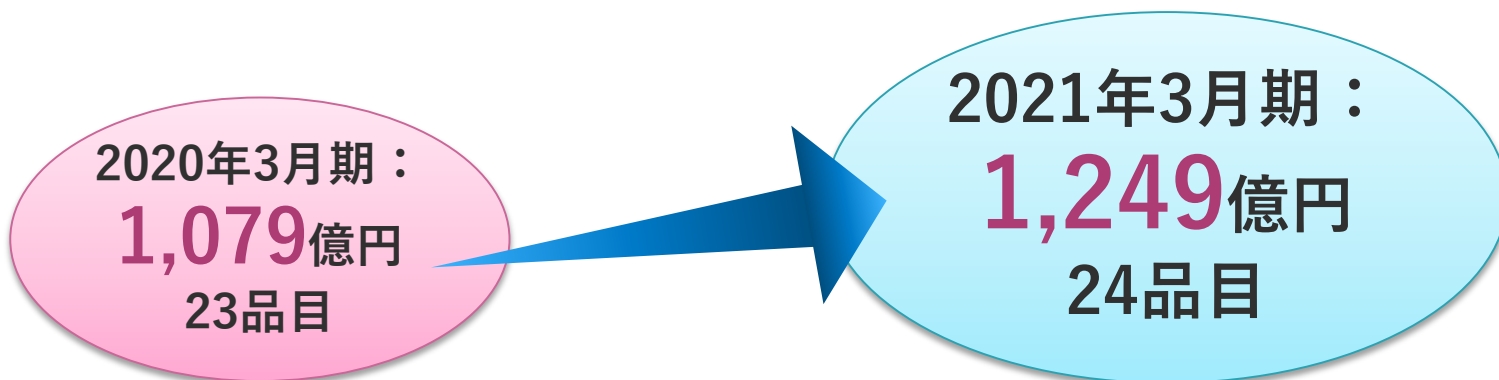
情報の
一元管理

グループの総合力による企業価値の最大化

(1) 医薬品卸売事業の機能強化による収益性向上

- 製品価値と流通コストに基づいた単品単価での価格管理・価格交渉の徹底
- カスタマーサクセスを意識した営業スタイルへの変革
- 地域医療の提供体制と安定供給・生産性を考慮した営業・配送拠点の再編
- 首都圏におけるTBCダイナベースを起点とした、ノー検品・ミザルの活用による営業・配送体制の再構築
- デジタル戦略による新しいMS機能の発揮
- 市場のニーズに合わせた地域の担い手となる人材の育成

取扱卸限定品の当社売上高



2020年12月～ シンバイオ製薬(株)抗悪性腫瘍剤「トレアキシン®」の流通受託

温度帯に応じた最適な物流温度管理体制の構築

「サルム」

- ・病棟までのトレーサビリティを実現



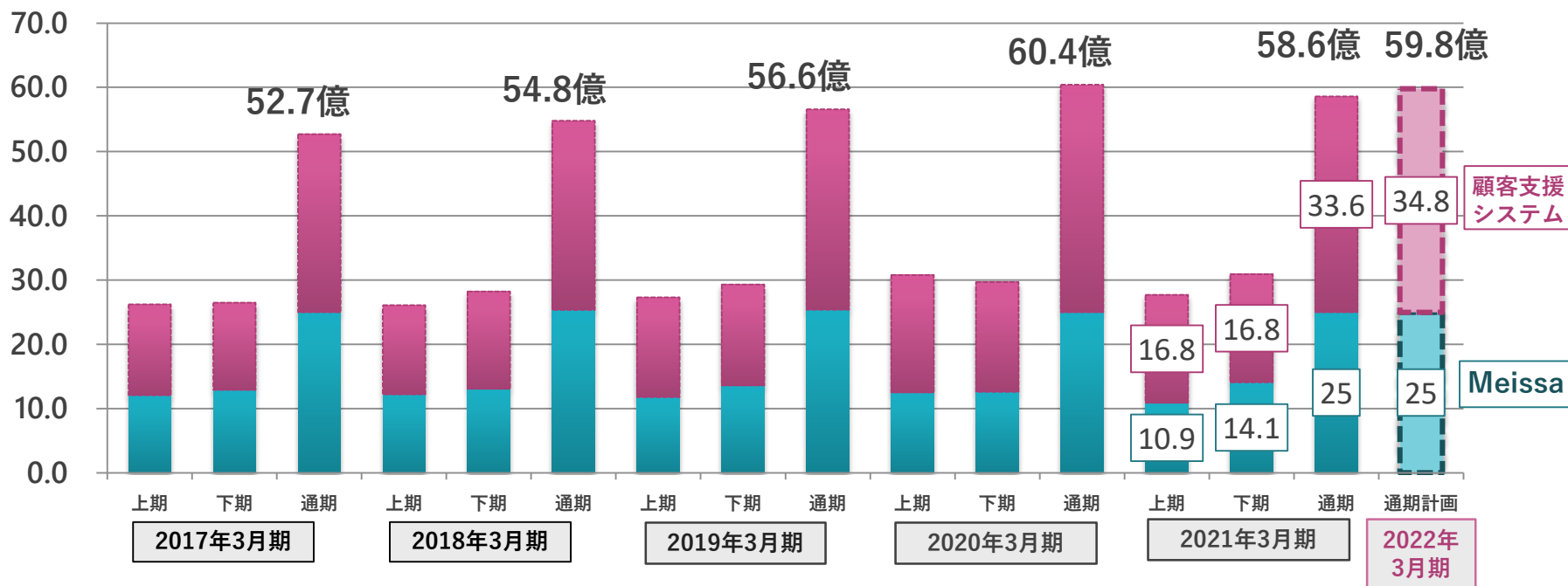
「オントレイシスクラウド」

- ・病院の医薬品冷蔵庫の温度管理プラットフォーム
- ・医薬品冷蔵庫の温度記録の自動化で医薬品廃棄ロスの削減と省力化を実現

(3) フィービジネスによる収益性の向上

売上総利益

■ Meissa ■ 顧客支援システム等



Meissaプロモーション (25億円)

- ・ 営業活動の自粛により上期利益は落ち込んだが、スポット契約等により下期は回復

顧客支援システム (33.6億円)

- ・ 訪問規制による提案活動の自粛、備品購入時期や新規開業時期の延期、受診抑制に伴うシステム課金金額の一時的な減少
- ・ コロナ禍により予約診療のニーズが増加
- ・ オンライン診療・服薬指導システム「KAITOS (カイトス)」の提供開始

1. コロナ禍における接触機会の低減に貢献するシステムの提案

オンライン診療・服薬指導
システム「KAITOS（カイトス）」
2021年2月より提供開始

エンタッチ
リモートディテリング

初診受付サービス
契約施設数：12,292軒

診療予約システム
累計：3,778台
(※受注ベース)

薬局本部システム『ミザル』
販売数：2,692店舗
(※受注ベース)

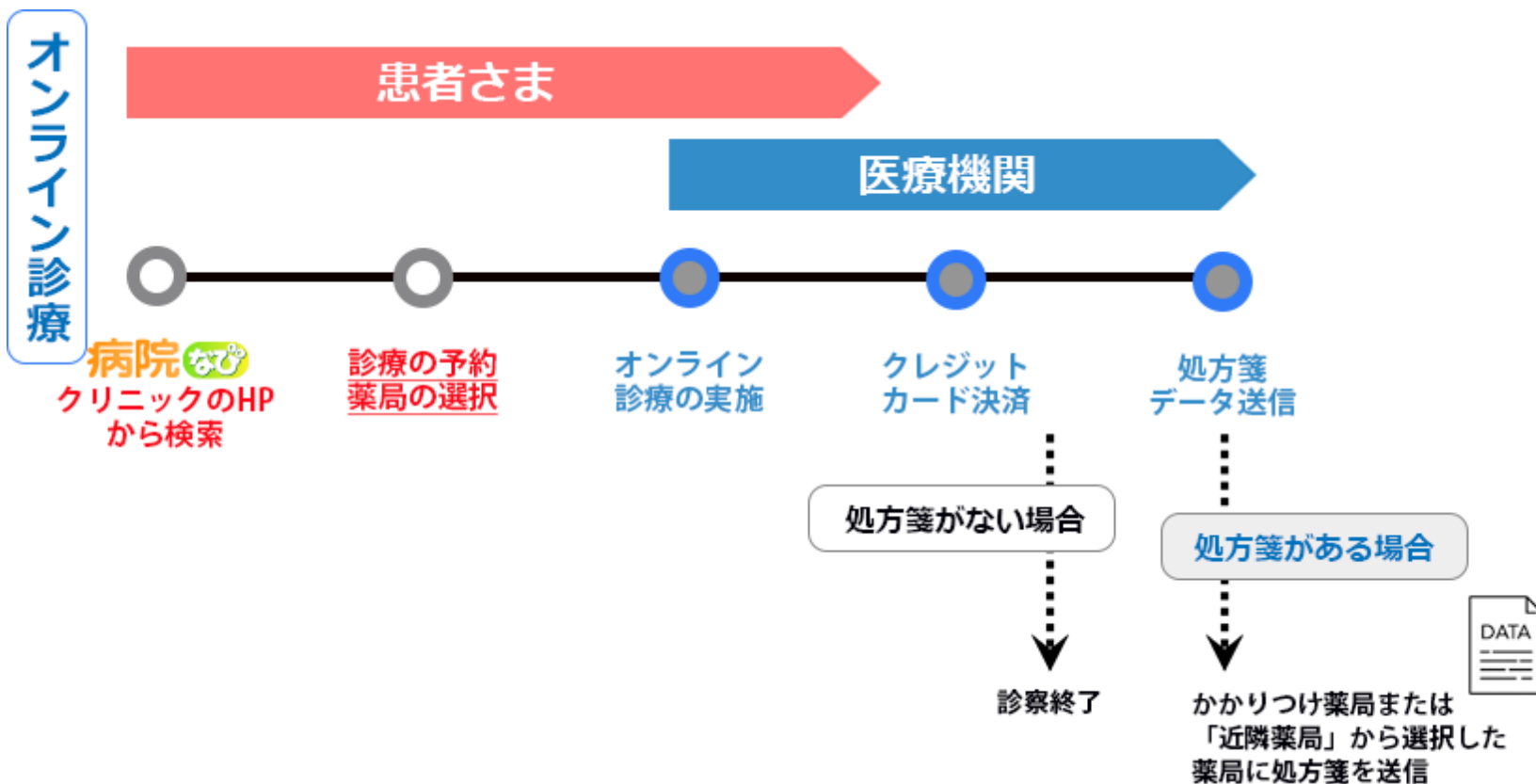
処方データに基づく自動発注機能
により計画配送による適正な在庫
量を維持することが可能

2. 業務効率化と経費削減に貢献するシステムの提案

Future ENIF
ENIF導入数：31,402台

ENIFvoice SP+A
／ENIFvoice Core
販売及び受注台数：13,580セット

(3) フィービジネスによる収益性の向上 ：オンライン診療・服薬指導システム

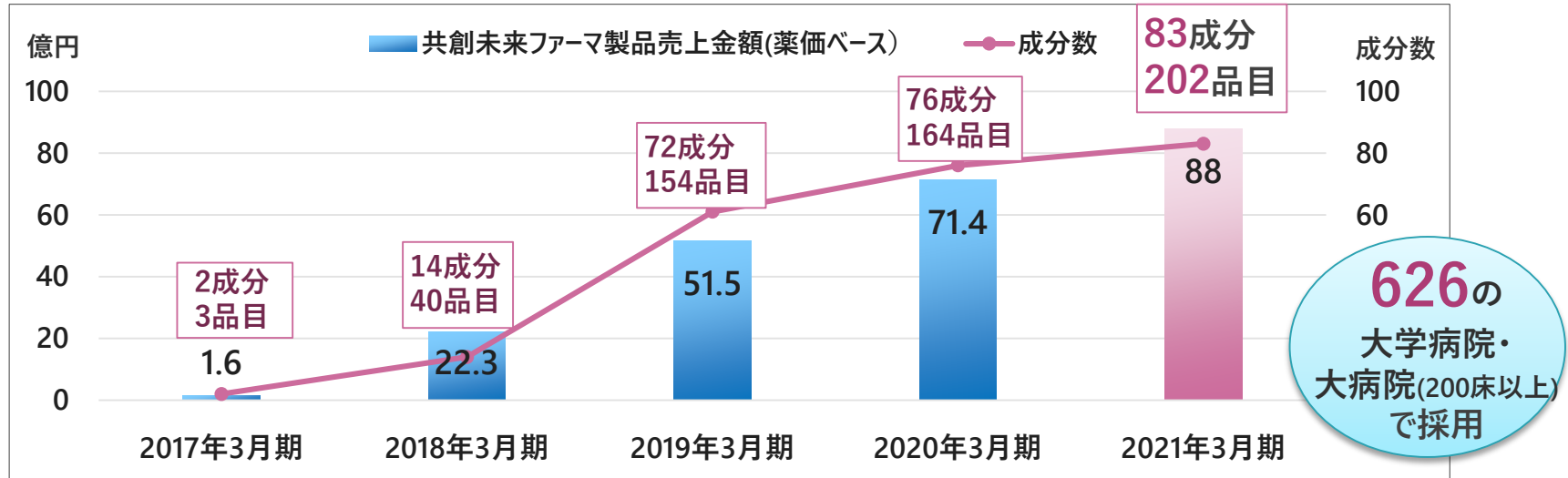


- 病院なびを起点に「オンライン診療を実施している医療機関を探す」というニーズに対応
- オンライン診療専用ダイヤルを設置し、患者様・医療機関からの問い合わせにコールセンタースタッフ、薬剤師、管理栄養士が対応

(4) 共創未来ファーマ製品の拡充とジェネリック医薬品の集約化



高品質・高付加価値のジェネリック医薬品を安定供給



2020年度 12成分 36品目 発売	アゼルニジピン錠「JG」(カルブロック錠)、エゼチミブ錠「KMP」(ゼチーア錠)、 レボセチリジン塩酸塩錠(ザイザル錠)、メマンチン塩酸塩錠・OD錠「KMP」「トーワ」(メマリー錠) ガランタミンOD錠「トーワ」(レミニールOD錠)、タダラフィルOD錠「トーワ」(ザルティア錠) デュタステリドカプセル「トーワ」(アボルブカプセル) イミダフェナシン錠・OD錠「YD」(ウリトス錠・OD錠、ステーブラ錠・OD錠) グリメピリド錠「オーハラ」(アマリアル錠)、プレガバリンOD錠「KMP」(リリカOD錠)、 リバスチグミンテープ(イクセロンパッチ、リバスタッチパッチ) ファモチジンOD錠「Me」(ガスター®D錠)
製造販売 承認取得	エスゾピクロン錠「KMP」(ルネスタ錠) デュロキセチンカプセル「KMP」(サインバルタカプセル)
21/5/14発売	アトルバスタチン錠「Me」(リピトール®錠)

- 定量試験、溶出試験、純度試験を自社で実施
- 「原薬製造国」に続き2021年4月より「製剤製造企業名」を公開

(5) TBCダイナベースを起点としたビジネスモデルの構築

スペシャリティ医薬品のワンストップ物流を実現するTBCダイナベース



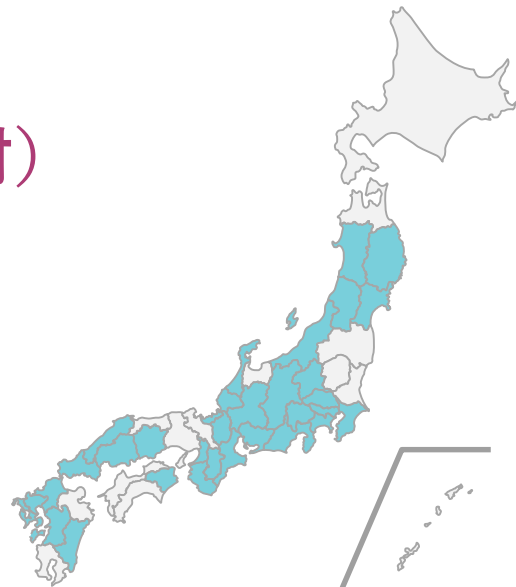
TBC WILL品川（2021年3月稼働）：WILL平和島（検査薬等）の機能を移管
TBC北陸（2022年度稼働予定）：設備投資金額 15億円

(6) 地域包括ケアシステムへの貢献

どこシル伝言板

導入自治体数：**1都1府33県（139市町村）**

QRコードが印刷されたラベル・シールとICTサービスを用いて、認知症による徘徊症状により行方不明となった方の安否情報等を個人情報を開示せずに、インターネット上で共有し、身元確認や家族への引渡しを円滑に行う



「健康コミュニティ」創出に向けた協業
サンフラワープロジェクト(*)が住友商事、サミット、トモズと連携し、食を通じた健康生活を支援する健康コミュニティコーナーを提案

*サンフラワープロジェクト

東邦HD、国分グループ本社、大木ヘルスケアHDの3社で推進するプロジェクト。食を通じ、医療との関連性を持たせた生活者の健康支援や快適な生活に繋がる売り場、また情報提供の場を目指す



2021年3月24日（水）
サミットストア鳩ヶ谷駅前店に開設

(7) 調剤薬局の機能強化

• 改正薬機法への対応

地域連携薬局	<ul style="list-style-type: none">✓ ICTを活用した服薬情報の一元的・継続的把握✓ 在宅医療への対応✓ 医療提供施設との情報共有 <p>顧客支援システムを活用した業務効率化により、対人業務へ専念することで、かかりつけ薬局としての機能を強化</p>
専門医療機関連携薬局	<ul style="list-style-type: none">✓ 高度薬学管理機能を有する薬剤師の育成✓ 専門医療機関との情報共有 <p>癌領域をはじめとした専門薬剤師育成のため、現在2名が病院研修を実施中</p>

- オンライン服薬指導の体制強化
- SNSを活用した服薬フォローの推進
- 物販の拡充など新たな収益源の確保
- 薬局本部システム『ミザル』を活用した在庫の適正化



2022年3月期の見通し

2022年3月期の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を現段階で判断することが困難なことから未定としております。
合理的な算出が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

【配当に対する考え方】

今後とも、将来の収益基盤の強化と市況変動に備えた内部留保の充実に努めつつ、毎期の業績を勘案しながら柔軟な配当政策を実施する所存です。

	中間	期末	年間
2020年3月期	20円 (普通配当：15円 記念配当：5円)	20円 (普通配当：15円 記念配当：5円)	40円 (普通配当：30円 記念配当：10円)
2021年3月期	15円	15円	30円
2022年3月期 予想	15円	15円	30円



參考資料

キャッシュフローの状況

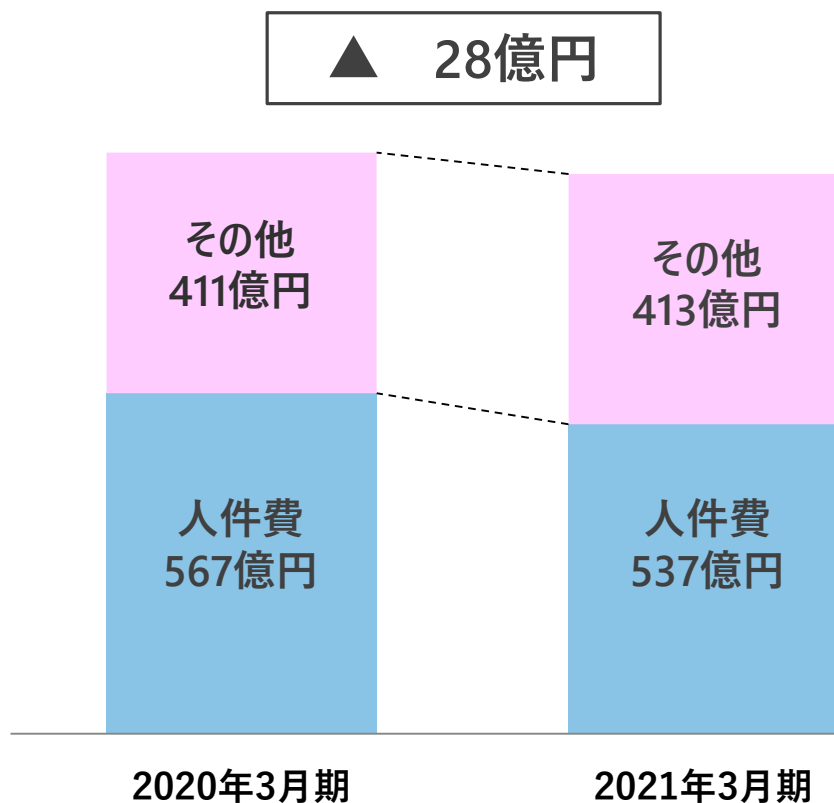


単位：百万円

	2020年3月期	2021年3月期	2021年3月期の主な要因	
現金（同等物）の 期首残高	75,382	80,013		
営業活動	10,815	8,768	税引前利益 10,273 減価償却費 6,424 売上債権の減少 1,023 たな卸資産の減少 1,143 未払消費税等の減少 △2,479 法人税等の支払額 △6,731	
投資活動	△15,664	680	投資有価証券の売却 7,424 有形固定資産の取得 △4,141 無形固定資産の取得 △1,583	
財務活動	9,479	△680	長期借入による収入 2,800 長期借入金の返済 △1,724 配当金の支払 △2,468	
現金（同等物）の 期末残高	80,013	88,882	当期増減額	8,869

販売管理費の前年比分析

【前年同期比】



- その他 + 2億円**
- ・新規連結 +4億円 (医薬品製造販売)
 - ・既存会社 ▲2億円
 - 医薬品卸 +6億円
 - TBCダイナベース 家賃他 +17億円
 - 営業活動の自粛ほか ▲11億円
 - 調剤薬局 ▲8億円
 - 消費税増税により+3億円、派遣料等 ▲5億円、のれん償却 ▲3億円、自粛ほか ▲3億円
- 人件費 ▲30億円**
- ・新規連結 +4億円 (医薬品製造販売)
 - ・既存会社 ▲34億円
 - 医薬品卸 ▲22億円
 - 調剤薬局 ▲12億円

【設備投資】

2021年3月期

実績： 6,000百万円

①高機能物流センター
「TBCダイナベース」
建物・システム
3,049百万円

②医薬品卸営業所
新築移転等
1,061百万円

③その他
1,891百万円

2022年3月期

計画： —

「TBC北陸」
建物・システム
1,518百万円

内訳
建物等 1,110百万円
物流設備等 408百万円

【減価償却費】

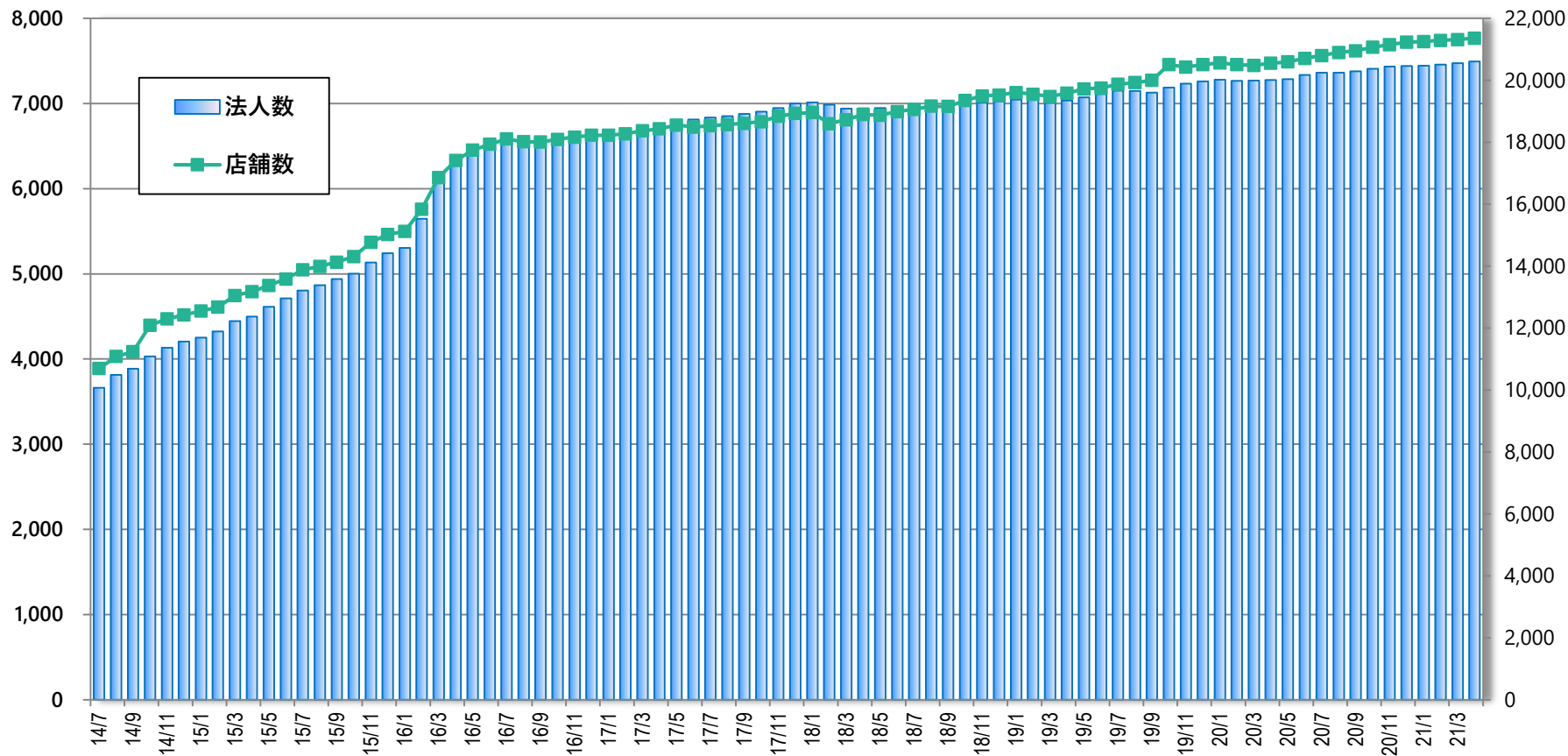
2021年3月期実績

5,964百万円

2022年3月期見込み

—

【薬局共創未来会員数】 7,494法人 21,360店舗（2021年4月末現在）





全ては健康を願う人々のために

 **東邦ホールディングス株式会社**

【IR担当窓口】経営企画・IR部、広報部
E-mail: info@so.tohoyk.co.jp
<http://www.tohohd.co.jp/>